新春のごあいさつ

町長 佐瀬哲司

輝かしい昭和五十九年の新春を迎え、町民の皆様に謹んで御祝詞を申し上げます。

昨年の町長選挙に際しましては、暖かいご支援を賜り、無競争当選という名誉あるかたちで、三度び町長の座をお与えくださいましたことを、改めて感謝申し上げます。

また平素は、町政への絶大なるご理解とご協力を賜り、お陰をもちまして町発展の基盤づくりが着々と進行しておりますことを心から御礼申し上げます。

さて、昨年は選挙に明け選挙に暮れたあわただしい年でしたが、国の内外共に暗いニュースが多く、皆様のくらしに於ても異常気象や長引く不況の影響で、苦難の年であったと思います。

このように暗い話題の多かった年の瀬に、サケが大量に遡上し、待望の文化会館も落成するという、明るいニュースが相次ぎ、新しい年への大きなはずみとなりました。

こうして迎えた昭和五十九年は、わが町にとって極めて重要な意義をもつ年となります。

即ち、空港周辺航空機騒音対策特別措置法に基づく都市計画

◇意義深き年◇ 都市計画元年

がいよいよスタートを切ります。

将来の町を決定づけるこの都市計画には、懸案の坂田池周辺の総合公園計画や、生活雑排水を中心とした下水路整備など、私がかねがね唱えてきました大きなプロジェクトが組込まれる予定です。

また町発展の上から、今や避けては通れぬ重要課題となっております、役場脇から栗山川に至る一帯の開発についても検討していかなくてはなりません。

土地の乱開発、スプロール化を防止し、かけがえのない自然を守りながら、いかに住みよい近代的な町を築いていくか、皆様の英知を集め、二十一世紀へ向けての大計を樹立していきたいと考えます。

また、都市計画に先んじてスタートを切りました産業開発道路（町道坂田～遠山線）の建設につきましては、大総の一部地域の開発にとどまらず、町全体の発展につながる極めて意義深い大事業ですので、当面の最重点施策として予算の獲得に全力を注ぎ、用地の取得から本格的な工事へとピッチを早めたいと意気込んでおります。

農政面では、重点施策の一つでありますモデル事業を中心に、各事業の一層の推進に努めます。

また行政懇談会に於て、最も要望・苦情の多かった道路問題につきましては、十分な点検を行い問題の解決にあたります。

さらに地震や津波対策としての無線放送施設の設置、新興住宅地域への集会施設の建設、ゴミ処理対策等、住みよい町づくりの上で欠かせぬ施策については格別の力を注いでまいります。

また、教育や福祉の面につきましても一段と充実を期してまいります。

以上のように本年も各分野にわたり最大限の努力を払ってまいりますが、行革の時代を迎え、財政は極めて厳しいものがございますので、行政全般の見直しによりその合理化を図り、財源の稔出に努めてまいります。

次に空港問題につきましては、二期工事が具体化してくるものと思われますが、住民の皆様に危険が及ぶような問題については、いかに国策であるにせよ容認することはできません。ましてやB滑走路では町の真上を縦断することになりますので、納得のいく対策を協力の条件として厳しく対処していく考えです。

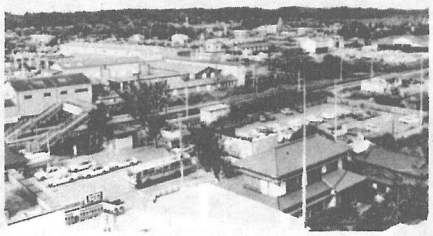
懸案の工業団地対策についても、種々論議のあるところではございますが、地域の皆様の意向を十分に踏まえ、見通しを誤らぬよう慎重に対処してまいります。

私の町政へ取組む姿勢は、あくまで町民本位であり、ガラス張りでなくてはと考えています。

今年も皆様の声に耳を傾けながら、町議会のご協力の下、目標に向って力強く歩を進めてまいりますので、皆様には本年も旧年に倍しますご鞭撻、ご協力をお願い致します。

終りに、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げまして、年頭のご挨拶といたします。

整備が待たれる坂田池周辺



町発展のカギをにぎる、駅裏一帯